



広告

「こもれび」に出会えたから。

2019年2月に「こもれび」を卒業したKさんから連絡がありました。

「こないだアビリンピックで金メダルをとったんだよー！」しばらくぶりの歓喜の声。

Kさんは学生の頃から疲れやすく、就職してもどうしても休みがちでフルタイムでの勤務が難しくなりました。どうして自分は出来ないのかとの気持ちの落ち込みからうつ病を発症。Kさんは勤めていた会社を退職しました。どうしてこんなに疲れやすいのかとクリニックを受診する中で、うつ病は二次障害であり、自閉スペクトラム(※1)である、との診断が降りました。今も視覚と聴覚の過敏があります。発達障害の人には感覚過敏がある方が多くいます。ですが生まれつきだからこそ、苦しんでいてもなかなか本人がその過敏に気が付けないことが多いのです。

そんな苦しい時期に、Kさんは社協(社会福祉協議会)の相談員さんに「こもれび」を紹介してもらいました。「あなたのように苦しんでいる人を助けたい、ライフステージごと支えたい」と面接時に熱く語った「こもれび」の社長。「自分のペースで通うことがスタートですよ」と決してせかさずに見守ってくれた支援員。視覚の過敏にはサングラスを、聴覚の過敏にはノイズキャンセルのイヤホンを勧められ、初めて自分が疲れやすかった理由を知りました。自分の調子に合わせて、安心できる場所で仕事をするうちに、少しずつ元気になっていったのです。

今、Kさんは「こもれび」を卒業して、世界的にも有名な会社の特例子会社(※2)に就職、障がいのある新人さんに仕事を教える指導員補助をしています。担当する新人さんが、自分の気持ちをうまく言葉にできない時、その障がいに対して周囲からの理解がとぼしい時、Kさんは間に入り、言葉を尽くします。長く障がいと戦ってきたからこそ伝えられる、そんな「私だからできる」本人への配慮と思いやりがあると感じているそうです。こもれびでの経験が、Kさんの障がいを一つの個性に変えて、今、人と異なる感覚を繋ぐ力になっています。

「こもれびがあったからこそ、今の私があります。」最後にKさんは語りました。



2023年の全国アビリンピック(※3)において、オフィスアシスタント種目に出場し、「金賞」を受賞したKさん。所属企業様からの全国大会、金賞入賞者は初。

※1 自閉スペクトラム 発達障害の一種。自閉症スペクトラム症候群、ASDとも言う。多くが感覚過敏を伴い、その他者との大きな感覚の違いから孤立を感じる人が多い。
 ※2 特 例 子 会 社 障害者の雇用促進と安定を目的として設立される子会社のこと。認定されると、親会社およびグループ全体の障害者雇用分として実雇用率を算定できます。
 ※3 アビリンピック 正式名は障害者技能競技大会。洋裁、CAD、オフィスアシスタント、喫茶サービスなど22の種目で競われる、障害のある方向けの技能五輪大会です。



こもれびグループ

社会を良くする
仲間でありたい。支援員さん募集中!

障がいがある方に、働く機会を提供する福祉サービスです。

株式会社こもれび 【本社】〒472-0016 愛知県知立市西中町中長 50-1

Tel.0566-84-5595 <https://komorebi.kmgr.jp> こもれび



※「広報ちりゅう」発行経費の一部に充てるため、有料広告を掲載しています。内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

